

【高等学校用】

令和4年度学校評価計画

評価値(評価)
★:十分達成できている
☆:おおむね達成できている
○:やや十分である
◇:不十分である

学校名 佐賀県立多久高等学校

1 前年度評価結果の概要
・3年生への就職・進学への対応は概ね良好であった。今後は、女子の割合及び進学希望者が増加していることへの対応を十分に検討する必要がある。
・いじめへの対応や生徒の悩み・不安への対応に対して、職員と生徒・保護者間で連携の深まりが大きくなってきている。専門家の協力を得る等、必要な研修を行わなければならない。
・今年度も、行事やキャリア教育等、様々な取り組みに新型コロナウイルスの影響が出た。代替案等を考えることも含めて、やり方と効果について検証する必要がある。

2 学校教育の概要
○「自分の夢を形に」・・・校訓「仁徳・自主・創造」のもとに、教職員と生徒が敬愛と信頼のなかで、文脈の異なる校風の創造をめざすとともに 自らの夢を描き、目標に向かって挑戦する意欲を持ち、その実現へ前進する「知・道・体」の調和のとれた、心身ともに健全な生徒を育成する。
○めざす生徒像・・・自分の夢を描き、目標に向かって意欲的に挑戦する生徒
○考えが異なる生徒間の交流
○キャリア教育に関する具体的な活動
○人文系系列・・・習得や文化、自覚意識を高める知識・技能を身に付け、コミュニケーション能力を身につけた生徒
○理系系列・・・理系分野のキャリアパスをめざし、その知識・技能とともにICTやロボットの精神を身につけた生徒
○芸術系系列・・・習得や文化の分野で実践力を高め、個性や才能を伸ばした生徒
○国際系系列・・・ものづくりを通して自らの技術を開き、工業やデザイン分野での次世代を担う人材となる知識・技能を身につけた生徒

3 本年度の重点目標
①わかる・力がつく授業の実現(新教育課程の検討含む)
②学びのための環境づくり
③生徒会活動・部活動の活性化
④働き方改革の推進
◎基礎学力の向上、専門的知識・技能の習得、現代社会への対応力やこれからの職業観の育成
◎「いじめ」の防止対策の推進、情報モラル教育の推進、自覚心の育成、ボランティア精神の醸成
◎協働の推進、個々の自己表現力の育成、主体性や協働の精神の醸成
◎環境の創造と地産化、職員の職業意識の高揚を図る

4 重点取組内容・成果目標

Table with 5 main columns: 評価項目, 重点取組, 具体的取組, 中間評価, 最終評価. It details various educational goals like '学力の向上', '心の教育', '健康・体づくり', and '職業教育・教職員の働き方改革'.

(2) 本年度重点目標に取り組む職員評価項目

Table with 5 main columns: 評価項目, 重点取組, 具体的取組, 中間評価, 最終評価. It details evaluation items for staff, such as '生徒会活動・部活動の活性化' and 'ICT教育'.

5 総合評価・次年度への展開
◎・・・達成目標 ○・・・準達成目標 ☆・・・意を要する取組 ★・・・最も二の腕り要する取組づくり